

徳島県看護学生の行動傾向について

高尾実千代 岡田 政子 武市 松子 兵庫 洋子
 矢本眞知江 森 恭子 松崎 和代 山下みちえ

小松島赤十字看護専門学校

要 旨

現代の若者は、生理的な年齢はすぎても社会的、経済的な活動をする時期が遅れ、精神的に自立していない若者が増加してきているといわれている。日頃看護教育に携わっている教師間でもそのことを実感できる場面が少なくない。そこで教師の目でみた学生像だけではなく、学生自身の日常生活の根底にある考え方や意見を知るために、今回、東京都による「大都市青少年の生活・価値観調査」の手法に従い、看護学生の行動傾向を導きだし、学生の理解に役立てる目的で調査を行った。

徳島県内の看護学校に在籍する看護学生1129人を対象にアンケート調査を行い、数量化理論Ⅲ類・クラスター分析を用いてデータを分析し、看護学生を「コツコツ青年」「ふわふわ青年」「イライラ青年」「ゆうゆう青年」の4つに類型化した。

結果、徳島県看護学生の全体的傾向は「ゆうゆう青年」が多く「イライラ青年」が少ない集団である等の幾つかの傾向が把握できた。

キーワード：行動傾向、クラスター分析、類型化

はじめに

現代の若者は、生理的な年齢は青年期をすぎていても社会的・経済的な活動をする時期が遅れ、精神的に自立していない若者が増加してきているといわれている。日頃看護教育に携わっている教師間でも、そのことを実感できる場面が多く、学生は「今の若い者は…」という視線を投げかけられがちである。

しかし教師の目でみた学生像だけではなく、学生自身の日常生活の根底にある考え方や意見を知ることは大切である。

そこで今回、東京都による「大都市青少年の生活・価値観調査」の手法に従い、日常の具体的な生活場面で看護学生はどのような生活意識を持ち、どのように行動しているのか、学生の行動傾向を導きだしたのでその結果を報告する。

研究目的

看護学生は日常の生活場面でどのような行動傾向を示しているのかを知り学生の理解に役立てる。

研究方法

調査期間：平成11年4月19日～30日

調査対象：徳島県内の看護学校9校7課程に在籍する看護学生1129人のうち全問回答者956人（表1）回収率85%、有効回答率100%。

表1 調査対象内訳

	コツコツ	ふわふわ	イライラ	ゆうゆう	データ数	データ数合計
全データ	25.84	26.46	17.89	29.81	956	
男子学生	20.51	32.05	29.49	17.95	78	956
女子学生	26.08	26.31	18.11	29.5	878	
1年生	26.53	25.77	20.66	27.04	392	956
2年生	28.99	25.44	17.16	28.4	338	
3年生	21.24	34.51	15.49	28.76	226	
全日制3年	29.26	24.61	24.81	21.32	518	956
全日制2年	26.8	26.8	27.45	18.95	150	
定時制3年	16.9	29.58	36.27	17.25	288	
20歳未満	27.62	24.05	24.5	23.83	449	956
24歳まで	29.79	18.88	18.62	32.71	376	
29歳まで	21.33	30.67	33.33	14.67	74	
39歳まで	17.5	22.5	37.5	22.5	41	
49歳まで	13.33	26.67	33.33	26.67	15	955
兄弟なし	17.02	31.91	21.28	29.79	47	956
兄弟有り	25.74	29.48	17.82	26.95	909	
独身	25.2	26.77	18.67	29.36	889	
既婚	29.85	26.87	20.9	22.39	67	956

調査内容と集計：東京都民生活局が実施した「第1回東京都青少年基本調査」の「都市青少年の行動傾向調査」をもとに看護学生にアンケートを実施（資料参照）。

資料 アンケート用紙

次の A～Y の質問にお答えください。質問はすべて「そのとき、あなたならどうする？」という形よりなっています。質問によっては現在の自分に直接関係のない場合でも「どちらか一方を選択しなければならなくなった」と仮定して、1または2のいずれかを選び回答欄にご記入ください。

- A. 前から行ってみたいと思っていたところがあった。季節もいいし、時間や金の都合も何とかなりそう。そのときあなたなら…
 1. 早速プランづくりにとりかかる。 2. とにかく出かける。
- B. 明日は休日。久しぶりに自分のやりたいことができると思っていたら休日を利用して金をもうける話。そのとき、あなたなら…
 1. やはり自分のやりたいことをしたいからと断る。
 2. なにはともあれ、先立つものは金と引き受ける。
- C. どういうわけか、テレビが故障。画面がでなくなった。そのとき、あなたなら…
 1. しばらくテレビがないのもいいではないか、とそのままにしておく。
 2. テレビのない生活なんて、とすぐ電気屋さんにきってもらう。
- D. 夕方、公園のベンチに一人で座っていると、アベックがとなりに座りました。肩を抱き合って時々キスなどもしています。そのとき、あなたなら…
 1. 人ごとながら気恥ずかしく思う。
 2. 何もこんなところでなくても、と考える。
- E. 東京発 9 時 03 分の博多行の新幹線にのるこなっています。そのとき、あなたなら…
 1. 遅れるといけなから早めに家を出る。
 2. 間に合えばいいのだからと別に急ぐこともない。
- F. 一生懸命やっているのだが、やっていることがどうもうまくいきません。そのとき、あなたなら…
 1. さっさとやめて他のことをする。 2. こんちきしょうと今以上がんばる。
- G. 電車の中で週刊誌のポスターが目に入りました。気になる TV タレントのことが書いてあるらしい。そのとき、あなたなら…
 1. 早速買って読まなくちゃと思う。 2. 別に買うまでもないと思う。
- H. 本を読んでいたら読み方と意味が分からない字がでてきました。そのとき、あなたなら…
 1. 辞書などで調べてみる。 2. 気にしないで読みとばす。
- I. 街を歩いていたら、数歩前を学校の担任教師が歩いているのに気がきました。そのとき、あなたなら…
 1. 声をかける。 2. 見つからないように人混みにかくれる。
- J. 友達と話をしていたら、よく知っている人が最近同棲をはじめたと聞かされました。そのとき、あなたなら…
 1. ああそう、と別に気にしない。
 2. どうしてそんなことをするのか、といぶかる。
- K. 深夜放送を聞いていると、今日は好きな音楽の特集だった。終わりの時間は午後 3 時だという。そのとき、あなたなら…
 1. 好きだから最後まで聴く。
 2. 明日の勉強にさっかえたらまずいとあきらめてねる。
- L. 親からおまえだけがたよになるからしっかりしてくれよ、といわれた。そのとき、あなたなら…
 1. わずらわしいことだなあ、と内心思う。
 2. またうまいこといって、と思う。
- M. 先生に「あなたには期待しているんだから、しっかりしてほしい」といわれた。そのとき、あなたなら…
 1. 期待にこたえなくっちゃ、と思う。
 2. またうまいこといって、と思う。
- N. 休みに友達と数人で街に出かけた。その中の一人がいまはやりのカッコいい服装であられた。そのとき、あなたなら…
 1. 自分も同じものを着たくなり、どこで買ったかを聞く。
 2. はやりを追うなんてセンス悪いと思う。
- O. 電車で座席に座っていると、前にお年寄りがたった。そのとき、あなたなら…
 1. そのまま座っている。 2. 席を譲ろうかなと、考える。
- P. 連休に、日頃付き合っている仲間たちから山登りにさそわれた。だが、山登りは疲れるしあまりすきではない。そのとき、あなたなら…
 1. 断ったらまずいと、一緒に行く。 2. やっぱり断る。
- Q. 学校の同級生が〇〇賞をとって新聞に出たと聞いた。そのとき、あなたなら…
 1. 別に関係ないことだ、と思う。
 2. 直接関係ないとはいえ、誇らしく思う。
- R. 入学のとき、何かと世話になった人がいま入院中とのこと。そのとき、あなたなら…
 1. 病院に見舞いに行かなくちゃと思う
 2. そのうち退院するだろうとそのまま過ごす。
- S. 知り合いの人が、会社の基本方針を批判したことがもとで解雇されたと聞いた。そのとき、あなたなら…
 1. 世の中そんなものだと思う。 2. まったくけしからん話だと憤慨する。
- T. 禁煙の表示のある電車の中で、タバコを吸っている人を見かけました。そのとき、あなたなら…
 1. 注意しなくてはと思う。 2. 黙って見ないふりをしている。
- U. 付き合っていた人とセックスの関係までになり、注意はしていたが妊娠していることがわかりました。そのとき、あなたなら…
 1. 結婚しなければと考える。 2. 中絶を考え、結婚は考えない。
- V. 人影のない道路でお金を拾いました。そのとき、あなたなら…
 1. しめたとする。 2. 交番に届けなくてはと思う。
- W. 街を歩いていると交通遺児のための寄付をたのまれました。百円ほどでいいという。そのとき、あなたなら…
 1. 寄付に応じる。 2. ことわって通りすぎる。
- X. 電車のストライキでダイヤがみだれ、乗客が怒り駅の備品をこわすなどの行為にでました。そのとき、あなたなら…
 1. いっしょに騒いでみたくなる。
 2. 腹立ちはわかるが暴れることはないと思う。
- Y. 本棚を整理していたら、使いかけのノートがでてきました。そのとき、あなたなら…
 1. 要らないからと捨てる。 2. とっておいてあとで使う。

分析方法は数量化理論第Ⅲ類クラスター分析。

結果及び考察

1. 分類基準について

本調査において看護学生を類型化するのに用いた方法は、東京都が青少年を類型化するのに独自に考案したPS法（Preference in Situation Method）である。PS法とは、調査票上、いくつかの具体的な状況を設定し、その状況ごとに人がどのような行動を選択するかをたずね、選択された回答の筋をたどることによって、その人の価値観を探り出す方法である。人の価値観はある状況の中でその人がどのような行動を選択するかを規定している。その規定の仕方には一定の筋がありその筋が個々の状況における行動選択を貫いている。だから与えられたいくつかの状況における行動選択がわかれば、その選択を貫く筋をたどることによってその人の価値観を捉えることが可能であるという考え方のもとに作られたものである。アンケートの質問項目は資料を参照されたい。

筋道のたどりかたの手法として用いられたのが数量化理論第Ⅲ類と呼ばれる統計手法である。数量化理論

第Ⅲ類というのは、別名パターン分類法とも呼ばれており、雑多な回答の中に一定のパターンを見つけ、そのパターンをもとに回答者を分類する基準を探り出す方法である。本調査ではその手法にのっとり看護学生の行動選択にかかわる回答を処理し、分類する基準を得ることとした。

この調査のねらいは看護学生を幾つかの類型として把握することである。まず類型の仕方であるが、ここでは数量化理論第Ⅲ類の結果得られた「社会規範同調—社会規範非同調」の第1軸（X軸）と「他人志向—自分志向」の第2軸（Y軸）とからなる座標平面を想定し、そこに両方の軸＝尺度で測られた各対象者を位置づける。次いで、座標平面上において $y = x$ の直線と $y = -x$ の直線を引き平面をその2本の直線で4分割する。4分割した平面のうちX軸のプラス方向を含む領域に位置づけられた対象者を「コツコツ青年」、マイナス方向を含む領域に位置づけられた対象者を「イライラ青年」とする。他方、Y軸のプラス方向を含む領域に位置づけられた対象者を「ふわふわ青年」とし、マイナス方向を含む領域に位置づけられた対象者を「ゆうゆう青年」とする（図1）。数量化理論第Ⅲ類によって得られた分類のための基準（＝

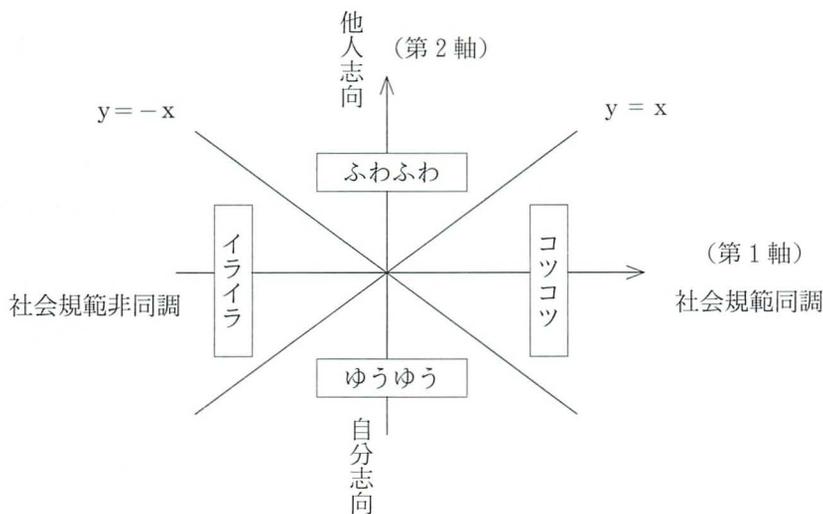


図1 類型設定の方法

社会規範同調

：従来望ましいとされてきた社会行動ないし社会規範をほぼそのまま自らの行動とし、規範としているものである。

社会規範非同調

：従来の規範や行動様式を無視するか、あるいは、それから逸脱した行動をとることを意味している。

他人志向

：他人の目や判断を優先させ、あなたまかせ・なりゆきまかせの行動をとる傾向がある。

自分志向

：自分の判断で事を処理し他との確執をあまり気にしないで行動する傾向を意味している。

表2 数量化理論第Ⅲ類によるカテゴリー・ウエイト値一覧

カテゴリー	第1軸	第2軸
A 1 旅行・プランづくり	0.46444	0.1948
A 2 旅行・出かける	-0.76277	-0.31928
B 1 休日のアルバイト・断る	0.46437	0.71509
B 2 休日のアルバイト・引き受ける	-0.5249	-0.80717
C 1 テレビの故障・そのまま	0.13763	0.32
C 2 テレビの故障・すぐ直す	-0.11203	-0.25914
D 1 公園でのキス・恥しい	-1.00277	1.33599
D 2 公園でのキス・こんなところで	0.8599	-1.14741
E 1 特急・早めに行く	0.80756	0.14862
E 2 特急・急がない	-2.94135	-0.54047
F 1 うまいかないこと・さっさとやめる	0.23675	-2.20471
F 2 うまいかないこと・もっとがんばる	-0.11318	1.08039
G 1 タレント記事・すぐ読む	-0.02863	0.34438
G 2 タレント記事・読まない	0.01297	-0.16037
H 1 わからぬ字・調べる	0.04153	1.89783
H 2 わからぬ字・読みとばす	-0.02595	-1.16669
I 1 街で担任・声かける	-0.52984	1.49452
I 2 街で担任・かくれる	0.73141	-2.06623
J 1 同棲・気にしない	0.3605	-0.23846
J 2 同棲・いぶかる	-2.23265	1.47655
K 1 深夜放送・最後まで聞く	0.60326	-0.36052
K 2 深夜放送・あきらめて寝る	-0.77253	0.46312
L 1 親の期待・わずらわしい	-0.75685	-1.71421
L 2 親の期待・応える	0.51433	1.16613
M 1 先生の期待・応える	-0.50763	1.8176
M 2 先生の期待・うまいこといって	0.56412	-2.00523
N 1 流行・追う	1.18493	-0.23548
N 2 流行・気にしない	-2.35583	0.46842
O 1 席・そのまま	-4.639	-0.97109
O 2 席・ゆずる	0.59124	0.12312
P 1 連休の誘い・一緒に行く	0.70386	0.64175
P 2 連休の誘い・断る	-0.4676	-0.42701
Q 1 同級生の受賞・関係ない	-2.0047	-1.28939
Q 2 同級生の受賞・誇らしい	1.30488	0.83978
R 1 見舞い・行く	0.66731	0.05203
R 2 見舞い・行かない	-4.83434	-0.37561
S 1 解雇・そんなもの	0.54602	-1.31175
S 2 解雇・憤慨する	-0.46023	1.10475
T 1 喫煙・注意する	-1.33753	1.7358
T 2 喫煙・見ないふり	0.6538	-0.84877
U 1 妊娠・結婚する	0.35018	0.40388
U 2 妊娠・中絶する	-0.79324	-0.91344
V 1 拾ったお金・自分のもの	-0.69461	-1.13937
V 2 拾ったお金・交番に	1.13405	1.86165
W 1 寄付・応じる	1.24402	0.09801
W 2 寄付・応じない	-3.77508	-0.29678
X 1 スト騒ぎ・一緒に騒ぐ	-1.08796	-2.38152
X 2 スト騒ぎ・騒がない	0.09502	0.20877
Y 1 古いノート・捨てる	0.68469	-2.62352
Y 2 古いノート・とっておく	-0.12173	0.46542

尺度)、第1軸・第2軸の使用が可能か妥当性を検討した。これを検討する場合の手がかりがカテゴリー・ウエイト値であるが、A～Yまでの(全25問50選択肢/25アイテム50カテゴリー)カテゴリー・ウエイト値を求めた(表2)。次に第1軸、第2軸それぞれについてカテゴリー・ウエイト値の大きい方及び小さい方からそれぞれ12カテゴリーを選び値の順に列べる(表3)。プラスとマイナスの領域とは特性が相対立する形をなすのが普通である。この値をみると、第1軸も第2軸も示されている分類基準の内実は東京都のものと変化していないところから、第1軸と第2軸の使用は可能であると判断した。そうして看護学生において「コツコツ青年」「ふわふわ青年」「イライラ青年」「ゆうゆう青年」がどの程度いるかを数値として導き出した。

各類型がどのような特徴をもっているかを簡単に整理すると次のようになる。(東京都青少年報告書より)

【コツコツ青年(堅実型青少年)】

旧来から大人が保持してきた社会規範をわがものとしているまじめな青少年。多少の辛さは我慢してがんばるタイプ。親や上司や教師のうけがよく、また、自分もそうした大人の期待に応えようとしている律儀な青年男女。

【ふわふわ青年(安穏型青少年)】

理屈や理想へのこだわりが薄く、関心の対象はほとんどが私事。世の中でどんなことがあってもわれ関せず。わが身に起こったことも自分に都合よく考え、くよくよしない楽道家。将来のことより今が大事という現実派でもある。

【イライラ青年(不満型青少年)】

世の中のすべてのことが不満のタネで気に食わないことばかりという不平派青少年。さりとて何がどう不満かと言われてもはっきりしていない。人間への不信が強く、押しつけや説教には反抗的。規範を守ることもないが、自分なりの価値観があり、それを主張するものでもない。

【ゆうゆう青年(自立型青少年)】

状況を読み、時に応じて自分の判断で適切に行動するマイペース青少年。大人の価値観には懐疑的。自分が大事だと考える価値へのこだわりが強い。正義心は強いが、感情はクールで、すぐ行動に現すことのない知性派。

表3 カテゴリー・ウエイト値整序表（第1軸・第2軸）

カテゴリ	第1軸
Q 2 同級生の受賞・誇らしい	1.305
W 1 寄付・応じる	1.244
N 1 流行・追う	1.185
V 2 拾ったお金・交番に	1.134
D 2 公園でのキス・こんなところで	0.86
E 1 特急・早めに行く	0.808
I 2 街で担任・かくれる	0.731
P 1 連休の誘い・一緒に行く	0.704
Y 1 古いノート・捨てる	0.685
R 1 見舞い・行く	0.667
T 2 喫煙・見ないふり	0.654
K 1 深夜放送・最後まで聞く	0.603
K 2 深夜放送・あきらめて寝る	-0.77
U 2 妊娠・中絶する	-0.79
D 1 公園でのキス・恥ずかしい	-1
X 1 スト騒ぎ・一緒に騒ぐ	-1.09
T 1 喫煙・注意する	-1.34
Q 1 同級生の受賞・関係ない	-2
J 2 同棲・いぶかる	-2.23
N 2 流行・気にしない	-2.36
E 2 特急・急がない	-2.94
W 2 寄付・応じない	-3.78
O 1 席・そのまま	-4.64
R 2 見舞い・行かない	-4.83

カテゴリ	第2軸
H 1 わからぬ字・調べる	1.898
V 2 拾ったお金・交番に	1.862
M 1 先生の期待・応える	1.818
T 1 喫煙・注意する	1.736
I 1 街で担任・声かける	1.495
J 2 同棲・いぶかる	1.477
D 1 公園でのキス・恥ずかしい	1.336
L 2 親の期待・応える	1.166
S 2 解雇・憤慨する	1.105
F 2 うまくいかないこと・もっとがんばる	1.08
Q 2 同級生の受賞・誇らしい	0.84
B 1 休日のアルバイト・断る	0.715
O 1 席・そのまま	-0.97
V 1 拾ったお金・自分のもの	-1.14
D 2 公園でのキス・こんなところで	-1.15
H 2 わからぬ字・読みとばす	-1.17
Q 1 同級生の受賞・関係ない	-1.29
S 1 解雇・そんなもの	-1.31
L 1 親の期待・わずらわしい	-1.71
M 2 先生の期待・うまいことって	-2.01
I 2 街で担任・かくれる	-2.07
F 1 うまくいかないこと・さっさとやめる	-2.2
X 1 スト騒ぎ・一緒に騒ぐ	-2.38
Y 1 古いノート・捨てる	-2.62

2. 看護学生の類型について

1) 看護学生全体の傾向について (図2 参照)

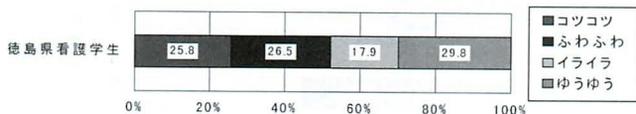


図2 徳島県看護学生全体の類型

徳島県看護学生全体の傾向は、「ゆうゆう青年」が29.8%と最も多く、次いで「ふわふわ青年」26.5%、「コツコツ青年」25.8%となり、「イライラ青年」が最も少なく17.9%となっている。「ゆうゆう青年」は類型の特徴からみると、自分が大事とする価値へのこだわりが強いマイペースで、クールな知性派である。教育の場では「コツコツ青年」が指導しやすい対象と捉えがちで、「ゆうゆう青年」は行動傾向からみると指導がむずかしいが、反面では自立型青少年として好ましいタイプでもある。「ゆうゆう青年」の特徴を捉えた教育姿勢を問われるだろう。「イライラ青年」が少ないことは、看護婦になろうという目的意識のある集団のためと考えられる。

2) 性別比較について (図3 参照)

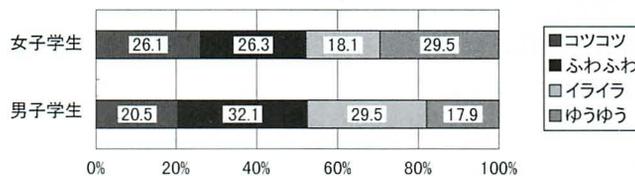


図3 性別類型

女子学生は「ゆうゆう青年」が29.5%で最も多く、男子学生は「ゆうゆう青年」が17.9%と最も少ない。女子学生は「イライラ青年」が18.1%で最も少なく、男子学生の「イライラ青年」のしめる割合は29.5%とかなり多い傾向にある。

これは女子学生がほとんどをしめる中で学ばなければならないという環境が影響していると考えられる。このことは定時制男子学生に比べ全日制男子学生に「イライラ青年」が多いことからいえる。(図4参照)「コツコツ青年」は男子学生に少なく、女子学生に多い。

これは女性には親や教師からうけをよくしようとコツコツがんばる律儀なタイプが多いからかと思われる。

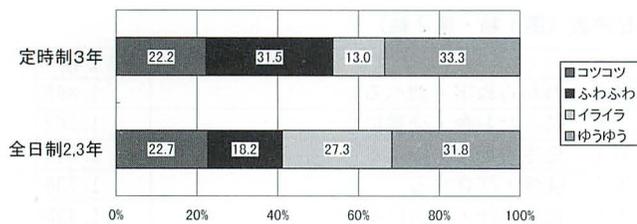


図4 男子学生の課程別類型

3) 学年別比較について (図5参照)

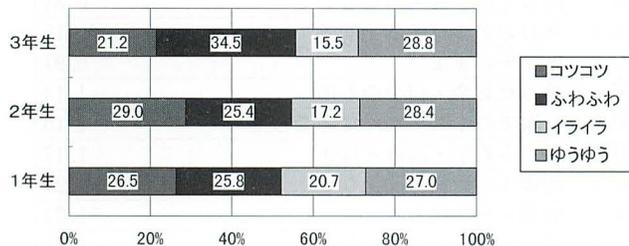


図5 学年別類型

1年生の特徴は「ゆうゆう青年」27.0%、「コッコツ青年」26.5%の順に多い。2年生は「コッコツ青年」29.0%、「ゆうゆう青年」28.4%、の順に多い。3年生は「ふわふわ青年」が34.5%で最も多く、次いで「ゆうゆう青年」が28.8%で多い。

学年比較をすると、「イライラ青年」は学年が上がるごとに徐々に減少する傾向にあり、「ゆうゆう青年」は増加する傾向にある。

3年生の「ふわふわ青年」が多いのは意外な結果だった。理由として、アンケートをとった時期が4月であり、自分の進路や国家試験のことをまだ真剣に捉えておらず、将来のことより今が大事とのんびり構えている現実派が多いと考えられる。

「イライラ青年」が学年をおうごとに減少する傾向にあるのは環境になれ自分をコントロールできるようになっていると考える。

男子学生の学年別類型をみると「コッコツ青年」が学年をおうごとに減少する傾向にある (図6参照)。これも

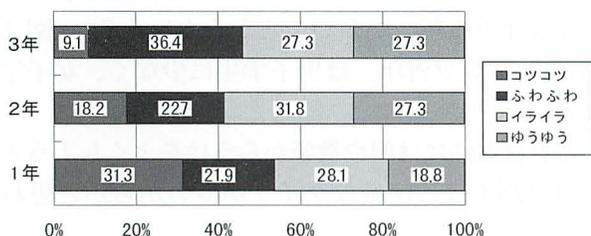


図6 男子学生の学年別類型

男性の特性と捉え指導する必要があると考えられる。

4) 課程別比較について (図7参照)

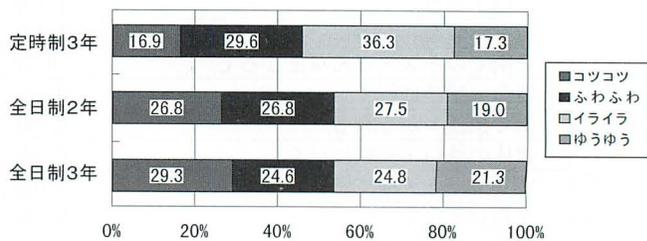


図7 課程別類型

全日制3年課程は「コッコツ青年」が29.3%と多く、次いで「イライラ青年」24.8%、「ふわふわ青年」24.6%で、「ゆうゆう青年」が21.3%と少ない。全日制2年課程は「イライラ青年」が27.5%で多く、「ゆうゆう青年」が19.0%で少ない。定時制3年は「イライラ青年」が36.3%で最も多く、次いで「ふわふわ青年」、「コッコツ青年」が16.9%で少ない。

定時制の「ゆうゆう青年」は全日制に比べ少なく、「イライラ青年」は多くなっている。これは年齢や役割、環境因子が影響していると考えられる。この傾向は女性に多い (図8参照)。



図8 女子学生の課程別類型

5) 年齢別比較について (図9参照)

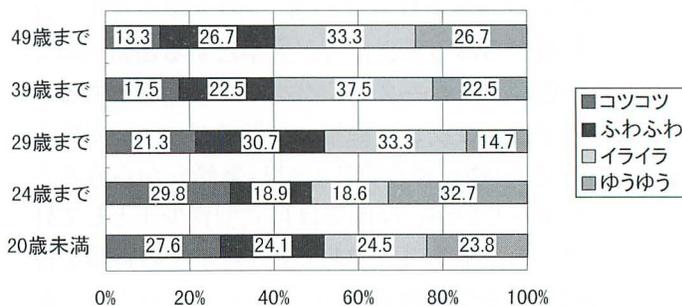


図9 年齢別類型

「コッコツ青年」は年齢が上がるごとに減少する傾向にある。また年齢が高くなると「イライラ青年」が増える傾向にある。これは、24歳までは学業優先で

る環境にあること、また加齢に伴う思考力の低下や学業に集中できる環境が減る状況のために学習することが負担になるのではないかと考える。

6) 兄弟別比較について (図10参照)

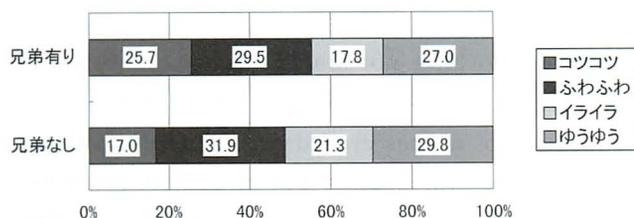


図10 兄弟別類型

4つのタイプの割合としての傾向は似ているが、「ふわふわ青年」「イライラ青年」「ゆうゆう青年」がいずれも兄弟なしがやや多いのに対して、「コッコツ青年」は兄弟ありに多い。これは、兄弟のなかで多少の辛さは我慢してがんばることや、家族という小さな社会の中で大人の期待に応えようとする態度や、社会規範が培われるのではないかと考える。

7) 既婚・独身別比較について (図11参照)

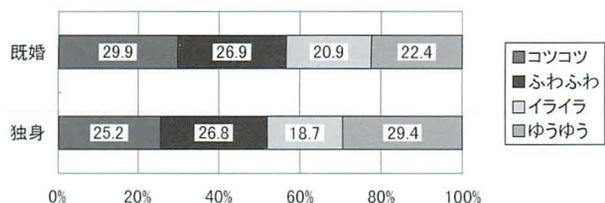


図11 既婚・独身別類型

独身の「ゆうゆう青年」が多い。これは、自分が大事という価値へのこだわりが強く、またマイペースに自分で判断し行動する事が可能な状況にあるからであると考えられる。

既婚には「コッコツ青年」が多い。これは、結婚することで社会・役割意識が高まるためと考えられる。

まとめ

徳島県看護学生を4つの類型として把握した結果、次のことがあきらかとなった。

- 1) 看護学生の全体的傾向は「ゆうゆう青年」が多く、「イライラ青年」が少ない集団である。
- 2) 女子学生には「ゆうゆう青年」が多く、男子学生には「イライラ青年」が多い。

- 3) 「コッコツ青年」は男子学生に少なく、女子学生に多い。
- 4) 学年が上がるごとに「イライラ青年」は減少し、「ゆうゆう青年」は増加する。
- 5) 3年生は「ふわふわ青年」が多い。
- 6) 定時制の「ゆうゆう青年」は全日制に比べて少なく、「イライラ青年」が多い。
- 7) 年齢が上がるに従い「コッコツ青年」は減少し、「イライラ青年」は増加する。
- 8) 「コッコツ青年」は兄弟ありに多い。
- 9) 独身に「ゆうゆう青年」が多く、既婚には「コッコツ青年」が多い。

おわりに

今回は一度のみの調査結果から考察をくわえたため限界があった。学年が1年次から2年次へまた3年次と変わっていくさまを4つの類型から読みとるとその構成比の変化をみることができ違った方向から考察できると考える。また調査時期によっても傾向に変化がみられることも考えられる。今後も検討を重ねて報告する予定である。

最後に、データの統計解析に助言と協力をいただいた徳島大学工学部、橋爪正樹助教授に深謝いたします。

文 献

- 1) 東京都民生活局「第1回東京都青少年基本調査報告書一大都市青少年の生活・価値観に関する調査(昭和52年)」
- 2) 東京都民生活局「第7回東京都青少年基本調査報告書一大都市青少年の生活・価値観に関する調査(平成7年)」
- 3) 東京都民生活局「第8回東京都青少年基本調査報告書一大都市青少年の生活・価値観に関する調査(平成10年)」
- 4) 徳竹芳子, 阿部美保子, 小宮美子, 他: 看護学生の行動傾向について. 神奈川県看護婦等養成機関連絡協議会, 看護教育研究集録 6, 1996
- 5) 目久田千恵子, 佐藤民子, 徳竹芳子, 他: 看護学生の行動傾向について 第2報. 神奈川県看護婦等養成機関連絡協議会 看護教育研究集録 7, 1997

Behavior Inclination of Nursing School Students in Tokushima Prefecture

Michiyo TAKAO

Komatushima Red Cross Nursing School

It is said that there are increasing number of young people who have not started social or economic activities and have not acquired mental independence even after the physiological age. Not infrequently, this phenomenon is realized by the teachers involved in education of nurses everyday. Thus, to find out not only the thoughts underlining the everyday lives of the students themselves but also their opinions, behavior inclination of nursing school students was extracted and examined using the approach of "The Survey on the View of Living and Sense of Values of the Youths in Urban Areas" prepared by Tokyo prefecture aiming at its utilization for understanding of the students.

We conducted a questionnaire survey for 1129 students present in nursing schools in Tokushima prefecture and examined the data using the cluster analysis of the quantification theory typeⅢ. The students were typified into four types, namely, "steady youth", "flighty youth", "irritated youth" and "calm youth".

As a result, we could grasp a number of inclinations including that the overall inclination of the nursing school students in Tokushima prefecture was mostly "calm youth" with a small number of "irritated youth".

Key words : Behavior inclination, cluster analysis, typification

Komatushima Red Cross Hospital Medical Journal 5:55-62,2000
